

“薩摩半島の拠点都市” を目指して！

市長 本坊輝雄



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

収束の見えない新型コロナウイルス感染症、その影響が長期化する中で、ロシアによるウクライナ侵攻や急激な円安など世界的な情勢の変化も重なり、原油や原材料、食料等あらゆる物の価格が高騰し、市民生活や経済に大きな影響を受けた年越しとなりました。

そのような中、本市では、ワクチン接種をはじめとする感染予防対策と医療体制を整え、市民の命と健康を守るとともに、「オール南さつま」きばっど商品券「今だからこそ10倍商品券」や南さつま市エネルギー関連経費高騰対策支援事業等の各種施策を講じてまいりました。今後も新たな取り組みを進めながら、地域経済の立て直しを図ってまいります。

さて、4月には、義務教育学校「金峰学園」の開校、新県立薩南病院の開院、秋頃には「金峰支所及び金峰地域消防拠点施設」の開所、そして、10月には特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」が本市（スポーツライミング・少年男子サッカー）で行われ、県内外から多くの方々を訪れま

す。「オール・南さつま」の真心を込めたおもてなしで大会を盛り上げ、本市の魅力をもPRしてまいります。

ポストコロナを見据え、人と自然が調和した持続可能なまちづくりを通じて、豊かな自然、子育て、教育環境の充実、健康寿命の延伸、安全・安心な生活環境を魅力として発信しながら「住みたい 働きたい 訪れたい 誰もが主役になれる 南さつま」の創造に努め、スピード感を持って、令和7年度の市制20周年に向け、各種事業を積極的に推進してまいります。

結びに、「新しい時代」の恒久平和を祈念すると共に、コロナ禍の困難を乗り越え、一日も早く安心して暮らせる南さつまの創造を目指してまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。

賀年



困難を乗り越え 実りある南さつまへ

令和5年

謹 新



市議会議長 山下美岳

新年あけましておめでとう
ございます。

市民の皆様におかれまして
は、健やかに希望に満ちた新
春をお迎えのことと心よりお
慶び申し上げます。

昨年、市内では、3月に
公共下水道の供用が開始さ
れ、特別養護老人ホーム和楽
苑と笠沙恵比寿については、
譲渡先がそれぞれ決定し、新
たな歴史を刻んでいくことと
なりました。

新型コロナウイルス感染症
は、未だに収束の兆しは見え
ないものの、国では、ウイズ

コロナに向け、以前のよう
な日常生活を取り戻すための検
討が行われております。

また、2月に始まったロシ
アのウクライナ侵攻では、多
くの尊い命が奪われるととも
に、世界経済に多大な影響を
もたらしました。日本では急
激な円安の影響もあり、様々
な商品の値上げが続いてお
り、一日でも早い終結と安寧
を願っております。

本年の干支は「癸卯^{みずのと}」。「こ
れまでの努力が花開き、実り
始める」「景気が上向きに跳
ねる、回復する」とも言われ
ています。4月には金峰学園
の開校、秋頃には金峰支所の
開所、10月には特別国民体育
大会のサッカー少年男子とス
ポーツクライミングの開催、
さらに、産婦人科や小児科も
備えた新県立薩南病院も開院
します。本年は、南さつま市
のこれまでの努力が実を結

び、経済が回復し大きく跳ね
る年になるものと期待してお
ります。

市議会は改選から1年が経
過し、定例会では、約4分の
3の議員が毎回一般質問に登
壇し、議員から意見書の提案
もなされました。初当選議員
は、定期的に自主研修会を開
催しながら研鑽に努めるとと
もに、3年ぶりに各常任委員
会の所管事務調査を県外で実
施し、2月には「みんなで語
る会」も計画しております。
議員一人ひとりが職責を自覚
し、市民に信頼され存在感の
ある市議会を目指し、皆様の
付託に応えられるよう取り組
んでまいります。

結びに、新たな年が市民
の皆様にとりまして、健康
で笑顔に満ちた実り多き一
年となりますよう心からご
祈念申し上げます、年頭のあい
さつといたします。